



ISO 9001  
ISO 14001

JQA-2631 (本社工場)  
JQA-EM3548 (本社工場)

屋根用 弱溶剤2液型フッ素樹脂塗料

# パワーフロン マイルド

**POWER FRON MILD**

フッ素樹脂塗料の最大の特長は耐久性。多種ある建築用塗料の中で最高の耐久性を有します。そのため、メンテナンスが困難な超高層ビル・大型鋼構造物を中心として数多くの建築物に採用されてきました。また、抜群の塗膜寿命により塗り替え回数が少なくなることで、ライフサイクルコスト(LCC)が低減します。

**パワーフロンマイルド** は、この耐久性、経済性に加え、様々な下地に適応する付着性と可とう性を有することで、高層ビルだけでなく、工場や一般住宅などの幅広い場面に適応します。より強く、より永く、より幅広く、より経済的に美しさを求めて開発した超耐久性屋根用塗料です。

## 用 途

※外壁面への使用も可能ですが、タレ易いため注意が必要です。また、素材により塗装仕様が異なりますので、当社営業者までお問い合わせください。

### 窯業系屋根材

1. 住宅屋根用化粧スレート、波形スレート(アスベスト含有)
2. ノンアスベスト波形スレート ノンアスベスト波形スレートへの塗装はエポックマイルドシーラーをご使用ください。
3. プレスセメントがわら
4. 陶器瓦(釉薬瓦・無釉瓦) いぶし瓦には塗装できません。
5. モニエル瓦 モニエル瓦への仕様は特別仕様となるため、当社営業者までお問い合わせください。

※アスファルトシングルへの塗装は不可です。

### 金属系屋根材

※金属の種類によっては付着しないものもありますので、当社営業者にお問い合わせください。

6. カラー鋼板(カラートタン、カラーステンレス、カラーガルバリウム)、亜鉛めっき鋼板
7. フッ素鋼板



# 他を超越したフッ素樹脂の耐候性

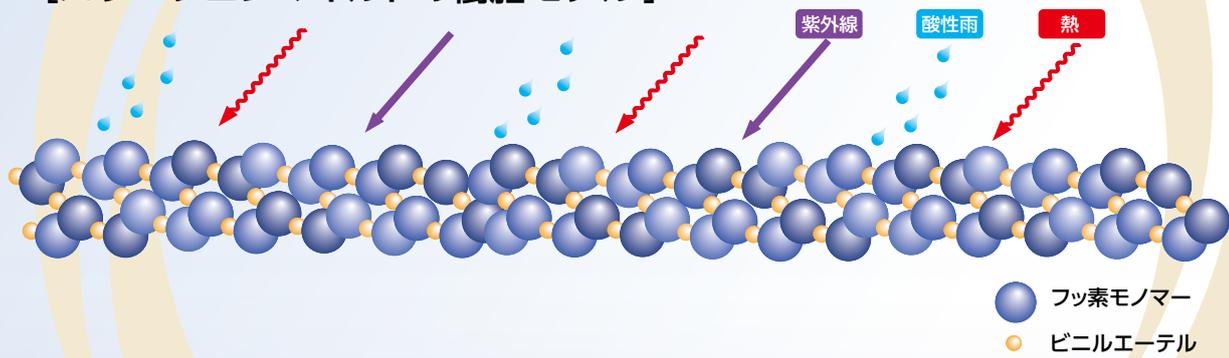


## 紫外線に強い

結合エネルギーが塗料用樹脂の中で最も高いC-F結合を有するので、紫外線劣化が起きにくい樹脂です。

	結合エネルギー (KJ/mol)	
UV-A波B波より高い結合エネルギー!	<b>C-F 440</b>	光分解しにくい ↑ ↓ 光分解しやすい
UV-B波 427kJ/mol	C-H 402	
UV-A波 380kJ/mol	Si-O 368	
	C-O 352	
	C-C 347	
	C-N 293	

## [パワーフロンマイルドの樹脂モデル]



## 酸性雨に強い

フッ素樹脂の代表であるテフロンは、酸やアルカリ・溶剤等の様々な薬品を使用する化学実験器具で多用される様に、抜群の耐薬品性を持っています。よって、酸性雨や煤煙に対して抜群の耐久性を発揮します。

## 熱に強い

熱劣化も塗膜の劣化要因の一つです。建築物は常に太陽光にさらされ、日射量の多い屋根は、真夏で65℃以上になる場合もあります。フライパンにも使用されるフッ素樹脂塗料は、合成樹脂の中で最も熱に対して強く分子レベルで熱分解を防ぎます。

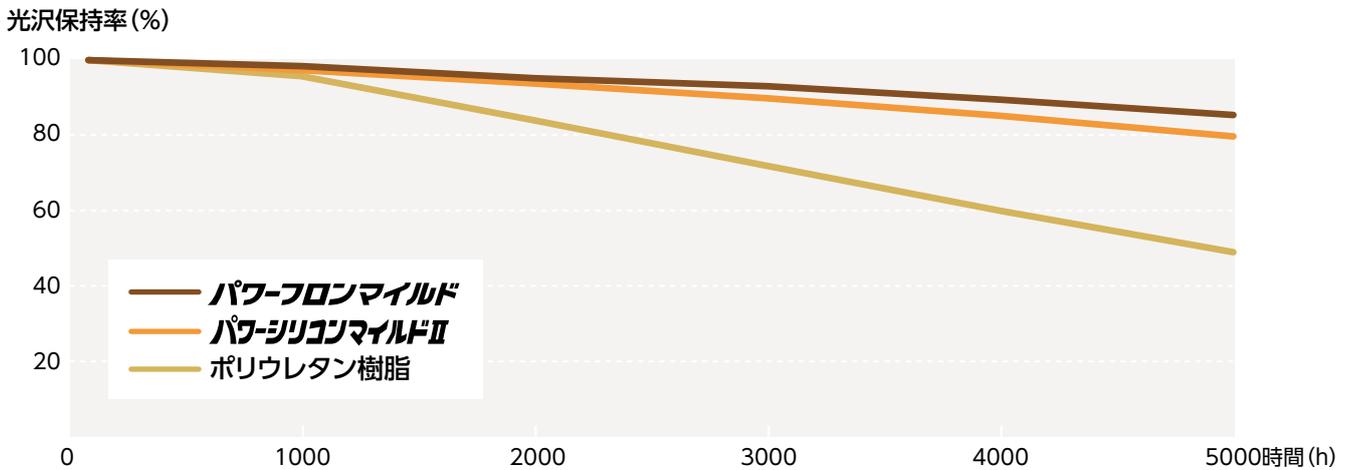


## 超耐久性

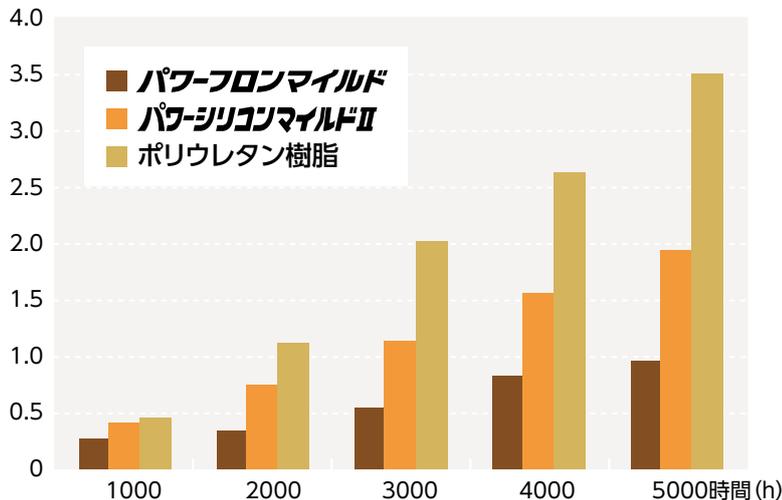
パワーフロンマイルドの樹脂を、大人・子供で表現します。塗料本来に必要な性能(可とう性、付着性等)を持った子供を、耐久性に優れた大人が両手でしっかり守ることで、強く優れた塗膜を実現しました。



### 促進耐候性試験 (キセノンランプ法)



色差 (ΔE) (数値が小さい程良い)



促進耐候性試験5000時間後も、**80%以上の光沢保持率、色差1以下**と抜群の耐久性を発揮します。

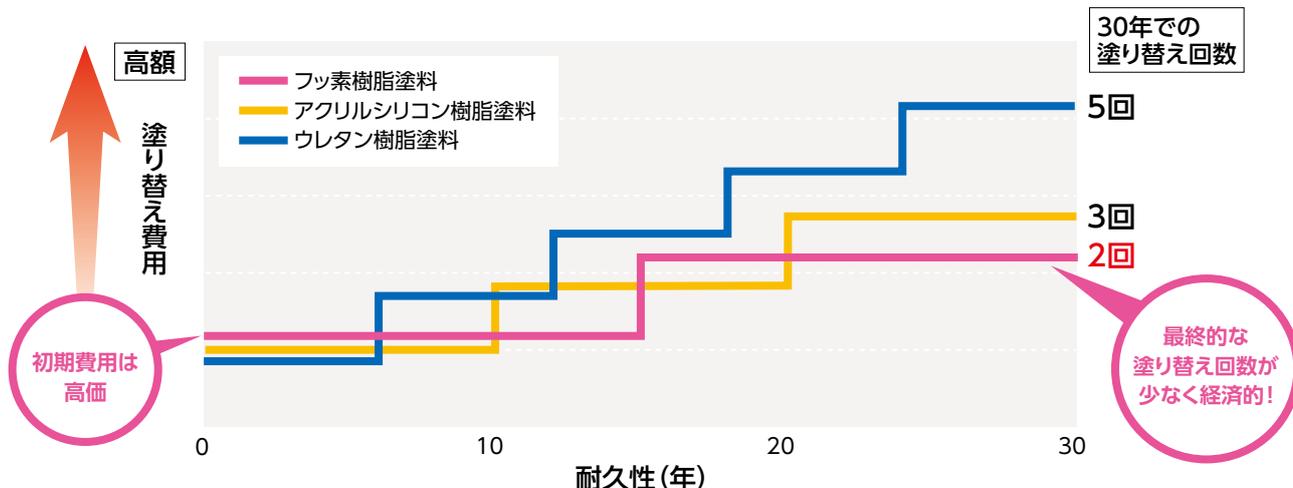
#### DP1級相当

パワーフロンマイルドは、超耐候性により、公共建築工事標準仕様『**耐候性塗料塗り(DP)**』の**上塗1級の耐候性**に相当します。

# LCC低減で経済的

フッ素樹脂塗料は、他の塗料と比較して初期の導入費用は高価です。

しかし、**抜群の耐久性**を誇るので**塗り替え回数が少なくなり、ライフサイクルコスト(LCC)が低減**します。



**ライフサイクルコスト(LCC)**

建築物によるLCCとは、建物の建設費用だけでなく、企画・設計・施工・運用・維持管理・補修・改造・解体・廃棄に至るまでに必要なトータルコストのことです。塗装に関しては、塗り替え回数が減少すると、その回数分の下地処理費用や手間賃などの補修費用を削減できます。さらに、一般的には3回塗り替えると、その後は屋根基材本体の葺き替えが必要と言われていしますので、その解体・廃棄の費用を抑えることができます。

耐久性の良い塗料を塗装することは、「LCCを削減する=総合的に建物の補修費用を抑えることができる」と言えます。

<b>耐酸性・対アルカリ性</b>	耐薬品性に優れるフッ素樹脂が、分子レベルで性能を発揮します。
<b>防カビ・防藻性</b>	屋根の美しさを損ない、劣化を促進させるカビや藻を長期間にわたって防ぎます。
<b>高艶有り</b>	バランスのとれた塗料設計にすることで高光沢な塗膜を形成します。
<b>幅広い素材に適合</b>	下塗り材との相性が良く、下塗り材の選別によって種々の屋根基材に適合します。
<b>弱溶剤型塗料の優れた機能</b>	地球環境にやさしく、安全な作業環境を提供します。 弱溶剤型ですので幅広い塗り替えに適しています。 溶剤型塗料に比べ臭気が少なく、塗装作業性に優れています。
<b>優れた作業性</b>	ハケ・ローラーへの含みが良く作業性に優れています。 また、隠ぺい力も良好で、2回塗りでも下地の透けや艶むらを抑えます。

## 可使用時間

### 試験条件

主剤と硬化剤を混合した塗料にそれぞれのRMシンナーを約10%添加し、蓋をせずに放置。

気温	希釈シンナー	可使用時間※1	半硬化時間※2
10℃	RMシンナー-W	8時間以内	12時間以上
20℃	RMシンナー-A	5時間以内	8時間以上
30℃	RMシンナー-S	3.5時間以内	5時間以上

※1.可使用時間とは、主剤と硬化剤を混合してから塗装可能な時間です。

※2.半硬化時間とは、夜露や降雨によりトラブル(艶引け・耐水白化・汚染等)が起きにくくなる時間です。

可使用時間・半硬化時間は、施工時の気温・環境(通風等)・保管状態・RMシンナー希釈割合により変わります。

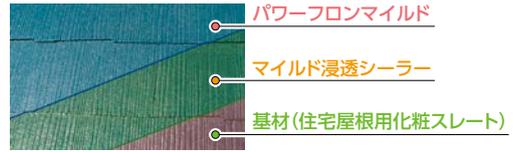
## 塗膜物性

基材:カラートタン板

試験項目	試験方法	試験結果
光沢	JIS K 5600に準ずる	83±2
鉛筆硬度	JIS K 5600に準ずる	H
付着性	JIS K 5600に準ずる(クロスカット法1mm幅)	異常なし
耐水性	水道水23℃×30日間浸せき	異常なし
耐温水性	水道水50℃×7日間浸せき	異常なし
耐酸性	5%硫酸 7日間浸せき	異常なし
耐アルカリ性	5%NaOH(カセイソーダ)水溶液7日間浸せき	異常なし
温冷繰り返し	(-20℃×16h・50℃×8h)20サイクル	異常なし

# 窯業系屋根材に対する塗装仕様

## 1. 住宅屋根用化粧スレート・波形スレート(アスベスト含有)



工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、苔、油脂類は高圧洗浄機で除去後、十分に乾燥した清浄な面とする。(含水率は8%以下、pHは10以下)									
下塗り	マイルド浸透シーラー 主剤14kg 硬化剤1kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	1(～2) ※	0.1～0.15	100～150 (50～75)	5h以内	-	2h以上 3日以内	-
上塗り	パワーフロンマイルド 主剤14kg 硬化剤2kg	10～20% (RMシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.12～0.15	53～67	4h以内	4h以上 10日以内	-	16h以上
		25～35% (RMシンナー)	エアレス		0.13～0.16	50～62				

※15年以上経過した基材など、基材表面が劣化し脆弱になっている場合、マイルド浸透シーラーを2回塗りしてください。

※急勾配な住宅屋根用化粧スレートへの塗装には、すべり防止としてポウジンテックス歩行用防滑骨材をマイルド浸透シーラー15kgセットに対して50～100g添加しご使用ください。

※エポックマイルドシーラーも使用できます。

## 2. ノンアスベスト波形スレート



工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、苔、油脂類は高圧洗浄機で除去後、十分に乾燥した清浄な面とする。(含水率は8%以下、pHは10以下)									
下塗り	エポックマイルドシーラー 主剤10kg 硬化剤1kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	1(～2) ※	0.1～0.15	73～110 (36～55)	8h以内	- (4h以上)	5h以上 7日以内	-
上塗り	パワーフロンマイルド 主剤14kg 硬化剤2kg	10～20% (RMシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.12～0.15	53～67	4h以内	4h以上 10日以内	-	16h以上
		25～35% (RMシンナー)	エアレス		0.13～0.16	50～62				

※屋根材のスレートの吸いこみが激しい場合、もしくは繊維の毛羽立ちが目立つ場合は2回塗りしてください。

## 3. プレスセメントがわら



工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、苔、油脂類は高圧洗浄機で除去後、十分に乾燥した清浄な面とする。(含水率は8%以下、pHは10以下)									
下塗り	RMプライマー 主剤14kg 硬化剤1kg	5～15% (RMシンナー) 15～25% (RMシンナー)	ハケ・ローラー エアレス	1	0.11～0.15 0.15～0.17	100～136 88～100	4h以内	-	4h以上 10日以内	-
上塗り	パワーフロンマイルド 主剤14kg 硬化剤2kg	10～20% (RMシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.12～0.15	53～67	4h以内	4h以上 10日以内	-	16h以上
		25～35% (RMシンナー)	エアレス		0.13～0.16	50～62				

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

## 4. 乾式洋瓦(モニエル瓦・スカンジア瓦等)

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、剥離塗膜、脆弱なスラリー層等をデッキブラシ、ワイヤーブラシ、皮スキ等を用い、手作業で除去する。最後に高圧洗浄(吐出圧力12MPa[120kgf/cm <sup>2</sup> ]程度)で完全に清浄な被塗面にする。脆弱なスラリー層が残った場合は、シーラーの付着不良を起こす可能性がありますので完全に除去する。									
下塗り	エポックマイルドシーラー 主剤10kg 硬化剤1kg	0 (注1)	ハケ・ローラー エアレス	1 (～2)	0.15～0.20	55～73 (28～37)	8h以内	-	5h以上 7日以内	-
確認	シーラー塗装後、ガムテープ等で付着性を必ず確認してください。 1. テープに着色スラリー層が付着する場合は、再度シーラーを塗装してください。 2. テープに旧塗膜が付着する場合は、塗膜のフレ、剥離、およびリフティングが発生する場合があります。再度クレン作業を行い付着不良の旧塗膜を除去後、再度シーラー塗装してください。									
上塗り (例)	パワーフロンマイルド 主剤14kg 硬化剤2kg	10～20% (RMシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.12～0.15	53～67	5h以内	4h以上 10日以内	-	16h以上
		25～35% (RMシンナー)	エアレス		0.13～0.16	50～62				

(注1) 冬場や、基材の状態により塗料のたまり部が発生するなど乾燥性が懸念される場合は、No.1塗料用シンナー(塗シナー)で15%程度希釈し、約半量で2回塗装してください。

※20年以上経過した基材等、基材表面が劣化し脆弱になっている場合は、エポックマイルドシーラーを2回塗装してください。

※塗付量にシンナー・希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。

## 5. 釉薬瓦(陶器瓦)・無釉瓦(素焼き瓦) ※いぶし瓦は塗装できません。

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、苔、油脂類は高圧洗浄機で除去後、充分に乾燥した清浄な面とする。(含水率は8%以下、pHは10以下)									
下塗り	陶器瓦用プライマーN 主剤14kg 硬化剤2kg	5~10% (RMシンナー)	ハケ・ローラー	1	0.14~0.16	100~114	4h以内	-	16h以上 10日以内	-
		15~25% (RMシンナー)	エアレス		0.21~0.23	70~76				
上塗り	パワーフロンマイルド 主剤14kg 硬化剤2kg	10~20% (RMシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.10~0.12	67~80	4h以内	4h以上 10日以内	-	16h以上
		25~35% (RMシンナー)	エアレス		0.11~0.13	62~73				

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

### 金属系屋根材に対する塗装仕様



## 6. カラー鋼板(カラートタン、カラーステンレス、カラーガルバリウム)、亜鉛めっき鋼板

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	さびの発生が進行していたり、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。ゴミ、汚れ、油分を除去し、乾燥したきれいな面とする。									
下塗り	RMプライマー 主剤14kg 硬化剤1kg	5~15% (RMシンナー)	ハケ・ローラー	1	0.11~0.15	100~136	4h以内	-	4h以上 10日以内	-
		15~25% (RMシンナー)	エアレス		0.15~0.17	88~100				
上塗り	パワーフロンマイルド 主剤14kg 硬化剤2kg	10~20% (RMシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.10~0.12	67~80	4h以内	4h以上 10日以内	-	16h以上
		25~35% (RMシンナー)	エアレス		0.11~0.13	62~73				

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

## 7. カラー鋼板、亜鉛めっき鋼板でさびが著しい場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	さびの発生が進行していたり、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。ゴミ、汚れ、油分を除去し、乾燥したきれいな面とする。									
下塗り	エポックマイルド#2000N 主剤14kg 硬化剤2kg	5~10% (RMシンナー)	ハケ・ローラー	1	0.14~0.16	100~114	6h以内	-	16h以上 10日以内	-
		15~25% (RMシンナー)	エアレス		0.21~0.23	70~76				
上塗り	パワーフロンマイルド 主剤14kg 硬化剤2kg	10~20% (RMシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.10~0.12	67~80	4h以内	4h以上 10日以内	-	16h以上
		25~35% (RMシンナー)	エアレス		0.11~0.13	62~73				

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

## 8. フッ素鋼板

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	さびの発生が進行していたり、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。ゴミ、汚れ、油分を除去し、乾燥したきれいな面とする。									
下塗り	フッ素鋼板用プライマー 主剤14kg 硬化剤1kg	5~15% (RMシンナー)	ハケ・ローラー	1	0.11~0.15(※1)	100~136	4h以内	-	4h以上 10日以内	-
		15~30% (RMシンナー)	エアレス		0.15~0.17(※1)	88~100				
上塗り	パワーフロンマイルド 主剤14kg 硬化剤2kg	10~20% (RMシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.10~0.12	67~80	4h以内	4h以上 10日以内	-	16h以上
		25~35% (RMシンナー)	エアレス		0.11~0.13	62~73				

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

(※1)塗付量はグレーと赤さび色の塗付量です。白とサーモクリームを施工する場合は、以下の塗付量を参考にしてください。

ハケ・ローラーの場合0.15kg~0.17kg/m<sup>2</sup>/回  
エアレス塗装の場合0.17kg~0.19kg/m<sup>2</sup>/回

## 荷 姿

### 上塗り塗料

パワーフロンマイルド  
16kgセット(主剤14kg 硬化剤2kg)

### 希釈剤

RMシンナー  
16L 4L  
※シンナーはA(春秋型)、S(夏型)、W(冬型)、W速乾用があります。

### 下塗り塗料

マイルド浸透シーラー  
15kgセット(主剤14kg硬化剤1kg)

エポックマイルドシーラー  
11kgセット(主剤10kg硬化剤1kg)

RMプライマー  
15kgセット(主剤14kg硬化剤1kg)  
常備色4色 グレー(日塗工N-55程度)、  
赤さび(日塗工O9-40L程度)、白、黒

エポックマイルド#2000N  
16kgセット(主剤14kg 硬化剤2kg)

陶器瓦用プライマーN  
16kgセット(主剤14kg硬化剤2kg)

フッ素鋼板用プライマー  
15kgセット(主剤14kg硬化剤1kg)  
常備色3色 グレー(日塗工N-55程度)、  
赤さび(日塗工O9-40L程度)、白

(パワーフロンマイルドに、塗料用シンナーは、使用しないでください。)

## 注意事項

### 【仕様全般】

1. 降雨・降雪・強風が予想される時や高気温(80℃以上)・低気温(5℃以下)の場合は施工を避けてください。高気温・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶引けを起こすおそれがあります。
2. 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合、目直しを行って再度塗装してください。
3. 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
4. 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠ぺい力不足・仕上がりが不良等につながりますのでご注意ください。
5. ハケ塗り仕上げとローラー塗り仕上げが混在する場合、塗分量・表面肌が異なるために若干の色相差がでますので、ハケ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
6. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
7. エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
8. 金属屋根のはげ部分など、構造上膜厚がつきにくい部分は、さびが生じやすいため、拾い塗りなどでしっかりと塗装してください。
9. 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
10. 補修部分が目立つことがありますので、同一塗料ロット・同一塗装方法で補修してください。また適正希釈にご注意ください。
11. 汚れ・傷等により補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは取って置き、同一ロット・同一塗装方法で補修してください。
12. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こすことがあるため、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプをご使用ください。
13. 水切り部(基材の小口間)が塗料で塞がっている箇所は皮すき等で縁切りを行ってください。(基材と基材の間に隙間がないと、結露や雨水の逆流により、雨漏りや敷板が腐る恐れがあります。)
14. 溶剤系塗料に使用するハケ・ローラーは、溶剤系専用のものをご使用ください。
15. 溶剤系塗料に使用したハケ・ローラーの洗浄には、ウレタンシンナーまたはアクリルシンナーをご使用ください。
16. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
17. 製品の安全性に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

### 【塗料に関する注意】

1. 使用前には充分攪拌してください。
2. 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分ご注意ください。
3. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください(専用シンナーをご使用ください)。
4. 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の割合で混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。
5. 2液型塗料は、塗料毎の可使用時間内に塗装してください。また、気温が高い場合極端に可使用時間が短くなりやすいため、手際よく塗装してください。
6. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いの原因となります。
7. 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ずRMシンナーをご使用ください。
8. 硬化剤はイソシアネートを含有しているため、蒸気・ミスト等を吸い込まないようにしてください。また、皮膚に付着しないよう充分ご注意ください。
9. 2液型塗料は、硬化が不十分な場合は、RMシンナーで再溶解する場合があります。
10. 2液型塗料は、主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
11. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
12. 材料の保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。

LINE公式  
アカウント開設!  
ID: @521kgmun

水谷HPは  
こちら↓



水谷ペイント株式会社



本 社 ☎ 532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90 ☎ (06) 6391-3151  
FAX (06) 6393-1101  
大阪支店 ☎ 532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90 ☎ (06) 6391-3401  
FAX (06) 6391-3456  
西日本開発部 ☎ 532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90 ☎ (06) 6391-3401  
FAX (06) 6391-3456  
東京支店 ☎ 101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル ☎ (03) 3865-8177  
FAX (03) 3865-8760  
東日本開発部 ☎ 101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル ☎ (03) 3865-8177  
FAX (03) 3865-8760  
北関東支店 ☎ 348-0038 埼玉県羽生市小松台2-705-22 ☎ (048) 563-0355  
FAX (048) 563-5124  
中部支店 ☎ 486-0815 愛知県春日井市十三塚町3-6 ☎ (0568) 85-3551  
FAX (0568) 85-3556  
広島支店 ☎ 734-0022 広島市南区東雲1-13-16 ☎ (082) 284-6556  
FAX (082) 283-0017  
福岡支店 ☎ 811-2304 福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1 ☎ (092) 611-5731  
FAX (092) 621-2301  
仙台営業所 ☎ 984-0042 仙台市若林区大和町1-2-2-36 ☎ (022) 782-6770  
FAX (022) 232-6871  
札幌営業所 ☎ 003-0006 札幌市白石区東札幌6条5-2-6 ☎ (011) 824-5711  
FAX (011) 824-6464  
工 場 本社・埼玉・中部・広島・福岡

塗料相談室 塗料に関するご質問、お問い合わせは…



☎ 06-6391-3039

営業時間: 午前 10:00~12:00 午後 1:00~3:00

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

2303050765932